

「教会に与えられている恵み」 エペソ1：20－23 堀田修一 19・6・30

I 「この大能の力を神はキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上でご自分の右の座（栄誉の座の意。神の右腕として働く偉大な方）に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世だけでなく、次に来る世においても、となえられる名（実体、実質、名声）の上に置かれました（キリストは「主の主、王の王」黙17：14）」：20，21。

偉大な神、キリストは、今も、天と地のすべてのものと、すべての出来事を支配しておられる。何が起ころうとも、すべての支配者の主を信頼して祈りたい。

人生は、思い通りいかない事が多い中、すべてを主は支配されている事実は慰めです！

II 「神は、すべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしら（原語：頭、首、首長、長）として教会にキリストを与えられました」：22。

神は私達に素晴らしい「知恵と啓示の御霊」（1：17）を与え、また、万物の支配者であるキリストご自身をかしらとして教会に与えて下さったのです！教会の原語は「から」と「呼ぶ、呼び寄せる、招く」の合成語。それゆえ、教会とは「この世から呼び出され救われた者達の集まり」と定義できる。教会は神が与え、お立てになった万物の支配者であるキリストをかしらとする共同体。かしらとは、聞き従うべきお方。教会とは頭であるキリストの御言葉に聞き、養われ、御言葉に従う共同体（マタイ28：18－20）。※人が教会のかしらとなってはいけない。互いに謙遜に語り、謙遜に聞き合い（自分の意見だけを押し通そうとしないで）、仕え合い、共に真のかしらである主の御言葉に聞き合い主の教会を建て上げたい。※愛と正しさに満ちたキリストのみが支配者。それ故、私達は、「人を支配してはいけない。と同時に、人から支配されてもいけない」。「はいといいえ」を言いながら成長する。

III 「教会はキリストのからだであり」：23。

教会のかしらはキリストであり、教会（主を信じ主とつながっている私達）はキリストのからだ。かしらである主と主のからだである私達（教会）の関係。

①一つとされている。深くつながっている。主の愛による養いがある！※証し。愛がない時。正直に祈る。途上の者。キリストは教会（ご自身の体）の喜び、痛みを実際に感じられる。「彼は地に倒れて、『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか』…彼が、「主よ。あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった。『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。』（使徒9：4，5）。パウロはクリスチャン達、教会を迫害していたが、それはキリストご自身を迫害している事だった。主と教会は一体、一つの体です。「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです」（マタイ25：40）。

②愛の関係。「キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられた」（エペソ5：25）。キリストは花婿であり、教会は花嫁。愛され愛し合う関係。ご自身をささげ私達を心から愛して下さっている主を、私達、教会も愛し、お従いする。

③頭（キリスト）の正しい命令で秩序正しく動き働くからだの各器官である私達、教会。「あなたがたはキリストのからだであって、ひとりひとは各器官なのです」（I コリ12：27）。

④かしらなるキリストは、キリストのからだである教会、私達を生かす命の源であり「養い育てます」(エペソ5：29)。「みことばは、あなたがたを成長させ」(使徒20：32)。「人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます」(ヨハネ15：5)。

⑤かしらなるキリストは、教会の土台。「その土台とはイエス・キリストです」(Iコリ3：11)。教会の土台はキリストでありキリストの御言葉。教会が主の教会として建て上げられるには、教会、私達が、人間のことは、考え、思想に立つのではなく、主の御言葉に立つ事。特別な記念日の説教も恵み！と同時に教会に祈られた講解説教は、牧師自身と教会を養う。講解説教に後悔はない！

IV「教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方(キリストご自身=いっさいのものの造り主・保持者。コロサイ1：16、支配者。エペソ1：20-22. 満たし主)の満ちておられるところです」：23。

1.「満たす」の原語の意：満たす、いっぱいにする、(かけている所を)満たす、完全(十分)にする、完成する、実現させる、成就する、果たす。「この下られた方自身(天から地に下り、私達の罪の為に十字架で死なれたキリスト)が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上げられた方(十字架で死なれ、三日目に復活し、天に昇り、父なる神の右に座されたキリスト)なのです」4：10。「キリスト・イエスによって与えられる義の実に満たされる者となり」ピリピ1：11。「あなたがたは、キリストにあって(つながって)、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」コロサイ2：10。「このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった」マタイ1：22。主は、教会、私達に真に必要なものすべてを満たし、御言葉を実現し成就する偉大なお方です！主は、「神の召しによって与えられる望み」(エペソ1：18)を成就し、私たちが「受け継ぐもの」(1：18)を間違いなく実現するお方です！

2. 教会はキリストが「満ちておられるところです」：23。キリストは天で御父の右に座し、全世界を支配し、全世界に臨んでおられます。御父、御聖霊が遍在(同時にどこにでもおられる)であられるように御子なる神、キリストも遍在であられます。と同時に、この23節の御言葉が語っているのは、教会は、キリストが特別に「満ちておられるところです」ということです！キリストは、偉大な神として全宇宙、全世界に臨在しておられる。と同時に、キリストが教会に臨在しておられる御臨在は、もっと特別な中身の濃い御臨在です！花嫁である私達、教会を心から愛して特別に近く、御臨在下さる花婿なるキリスト。キリストの教会への特別な御臨在が、御言葉と御霊により、礼拝、奏楽、祈り、賛美、聖書朗読、説教、献金、祝祷、聖餐式、洗礼式、交わり、御言葉を分かち合い祈り合うグループの中にあります。「ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです」マタイ18：20。「あなたは聖であられ…賛美を住まいとしておられます」詩篇22：3。私達は、この事実を体験的にも知っています。ますます体験し知って行きます。ですから、私達が、主と主の教会を愛し、主と教会に結びつき、教会生活を大切にすることは大きな祝福です。教会は主の深い御臨在に触れ、主の豊かな満たしを受ける所だからです。何を差し置いても、キリストが満ち、御臨在しておられる教会に身を置く事は大きな恵みです。教会にキリストが御臨在され、私達を満たして下さる事を感謝します。※証し